

「まだ糖尿病予備軍だから病気じゃない」「太ってないから関係ない」…間違っている糖尿病の知識。専門医が力になってくれます。

# 血糖値、「身体がどうもないから大丈夫」が一番危険です

医療法人社団 御幸会

熊本循環器科病院

熊本循環器科病院

検索

同院には、糖尿病専門医が3人勤務。糖尿病、高血圧、高脂血症などの生活習慣病の治療、生活習慣改善の指導を行っています。  
また、適切な診断に欠かせない検査機器も積極的に導入。短時間で気軽なので、「ちょっと受けておこう」という人も多いそうです。

メタボ・高血圧・高脂血症・糖尿病等の人へ

## 血圧脈波検査装置 (新規導入)

血管の硬さ(弾力性と詰まり具合)を数字化。血管年齢が分かります。約10分1500円(自由診療)



## 頸動脈エコー

頸動脈の内部を超音波で直接観察。どこが詰まっているのかなど、動脈硬化を診断できます。左右約20分



では、血糖値が健診でひっかかったり、糖尿病予備軍を含めてと診断された場合は、どうしたらよいのでしょうか。  
実は、治療薬の選択の幅が増えた今では、本人が持っているインスリンの分泌能力や体質を見据えて、どの薬を選ぶか

どのマッチングが大きいかで、そのさし加減は、専門医でも難しいといえます。  
「やはり、自分の糖尿病の状態をきちんと評価してもらい早期に治療を受けることが大事です。そのためには糖尿病学会専門医や、熊本県糖尿病

対策推進会議連携医のいる病院を受診することをおすすめします。  
専門医が3人いる同院では検査だけでなく治療まで、一貫して対応。問診・診察も先生みずからじっくりと話を聞いてくれるのが好評です。一度相談してみませんか。

## 検査から治療までトータルで、専門の医師が対応



熊本循環器科病院 西田 佳子医師

平成3年熊本大学医学部卒業。平成6年から日本赤十字社熊本健康管理センターに勤務。平成10年から同センター内の「代謝外来」を中心に勤務。平成25年4月熊本循環器科病院内科勤務。日本糖尿病学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本医師会認定健康スポーツ医

循環器疾患だけでなく、糖尿病や高脂血症等の代謝疾患にとくに力をいれている「熊本循環器科病院」(御幸会)。  
日赤で長年「代謝外来」に携わってきた経験を持つ、熊本循環器科病院の西田佳子医師に注意点を伺いました。

「食後の血糖上昇を診断すると、40歳以上の3分の1の方が、血糖異常が引かかるほど多いのが現状です。しかし糖尿病を指摘されたのに治療を受けなかった方は約4分の1と深刻。糖尿病は、発症しても、長い期間を無症状に経過するの

「これが糖尿病に効く」といった民間療法は数え切れないほどあります。また、「血糖を下げるお茶」などの民間の健康食品に頼り、治療に出来ないケースも問題となっているのだそう。  
「健康食品で血糖値は下がりません」

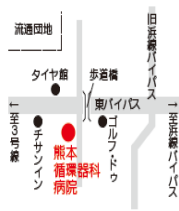
## 40歳以上の1/3が引かかる

近年、爆発的に増えている糖尿病。熊本は全国平均よりやや多く、指摘をされたのに放置し、どんどん悪くなっている人が多くいるそうです。「健診でひっかかったけれど、どこへ行けば分からない」という人は、ぜひ一度専門医へ。

「怖いところですよ」。糖尿病には男女差がなく、痩せていても(生活の乱れがなくとも)かかることもあるそうです。「自分は大丈夫」という思い込みは危険です。

## 症状がないからこそ…怖い糖尿病

- 動脈硬化の進展(突然倒れる、心筋梗塞、脳卒中など。血管がぼろぼろに)
- 神経障害(足壊疽で切断/年間3000人)、網膜症(失明/年間3000人)、腎症(透析/年間1万6000人)など様々な合併症を引き起こす
- 糖尿病が様々な病気の足を引っ張る(通常の手術が受けられないことも)



☎096 (378) 0345

● 診療時間 / 9:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00

● 休診 / 水曜午後(小児科)、土曜午後、日曜、祝日

● 住所 / 熊本県南区御幸町2-15-6

● 駐車場 / あり

※かぜや腰痛などの一般的な病気から検査~治療もトータルで受付

## 【診療科目】

- 内科 ● 循環器内科 ● 糖尿病内科 ● 内分泌内科 ● 脂質代謝内科 ● 消化器内科 ● 小児科

が、血糖値を下げる民間療法はないとおもってくださいます。サプリメントやお茶などは、あくまで補助的。いろいろな情報に惑わされないためにも正しい知識を得ることが大切です。病院では、糖尿病教室や講話を開催していることがありますので、足を運んでみられてはこのアドバイス。